




ふりがな 氏名	せらいや りゆうすけ	都道府県	東京都	
	<b>セライヤ 龍介</b>			
所属/肩書	早稲田大学教育学部教育学科教育学専攻教育学専修			
関心・活動のSDGs	 4 質の高い教育を みんなに	 11 住み続けられる まちづくりを		
私のESD活動	文部科学省が指定した「地域との協働による高校教育改革事業」の大学生研究員班として活動しています			

## 活動の概要

私の母校は「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」推進校に認定されました。その一貫として「地域創造コース」を2020年度から新設し、地域の魅力化に取り組んでいきます。このような推進事業は全国で50校、浜松学芸高校が認定された「地域魅力化型」は全国で20校が認定されました(私立高校は全国で母校のみ)。このコースは将来の地域を担う人材を育成することを目的とし、フィールドワークや地元企業との協働(イベント企画や商品開発)などを通し、課題解決学習に取り組み、故郷の魅力の再発見や地元でのライフキャリア形成を目指すものです。

この活動が認められ国の研究指定になったのも、私の高校時代はまだ「社会科学部」という部活動としてこういった活動を行っていました。しかし、地域の問題点を見つけ、試行錯誤しながらも、それに対する高校生ならではの視点でアプローチを考えていくことで、様々な企業団体からの賛同を受けることができ、活動がどんどん大きくなって行きました。活動は浜松市そして静岡県公認となり、ついには昨年、全国ビジネスアイデアコンテストでグランプリをいただきました。そして次は学校が、その活動をクラス単位で行おうとしているのです。現在私は大学生として、現在の高校生にアドバイスや活動のフィードバック、そして新たな大学生団体の活動も企画しています。このような活動は、生徒のキャリア形成につながると感じています。

浜松学芸中学校・高等学校 HP <https://www.gakugei.ed.jp/topics/detail/1727>

## 私が考える教育の未来像

世界的な格差や貧困の解消、経済発展優先することだけではなく、環境保全や社会発展との調和と文化的側面の尊重、グローバル化における地域文化や社会のアイデンティティ、といった観点をESDは含んでいます。こういった視点を、ホリスティック(全体・統一的)にとらえることが教育の本質であると思っています。単なる基礎知識やSTEMだけでは画期的なイノベーションを起こすことができません。私は、教育は子どもたち一人一人がその先の世界のあり方を考え、能動的に行動するよう導くためにあり、いずれは世界中の貧困や戦争などの問題を解決すべく1つのピースであると信じています。

## 私の強み、活かせる経験やスキル

私は中学高校時代生徒会長として様々な活動をしてきました。高校時代では浜松市で生徒会連盟を発足し、浜松の高校と共同しながら高校生として何ができるかを考え、その活動が今なお下世代へと繋がっています。私は何か0から1を生み出すことに魅力を感じています。なぜならば、今までの活動でそれがいかに難しいものであり、それであって成功した時の成長がどれほど大きいものかわっているからです。だから、それを目指すためのチャレンジ精神や様々な視点から物事を考える発想力は強みだと考えています。